

## 第 4 回瑞浪市情報化推進会議議事録

日 時	令和元年 11 月 29 日（金） 19 時 00 分から 20 時 10 分
場 所	瑞浪市役所西分庁舎 1 階会議室
出 席 者	伊藤 治会長、築瀬 洋一郎副会長、河口 敦子委員、足立 安博委員、 工藤 美佐子委員、向井 保子委員、大竹 徳久委員、加藤 幸枝委員、 荻山 利幸委員、小木曾 都委員、安藤 徳之委員、有賀 和秋委員
欠 席 者	籾 秀樹委員、伊藤 明芳委員
事 務 局	正村 和英、加藤 博史、水野 貴祥 ITbook：青木 由美、吉川 基徳、河合 利香（記）
傍 聴 者	なし

### 【会議録】

#### 《会長あいさつ》

会長

本日は第 4 回目の会議となる。第 1 回目では、瑞浪市の現状を把握しながら、すべき施策について協議した。第 2 回目では、市民、企業、職員への情報化の意識調査アンケートの集計結果について説明を受けた。第 3 回目では、「第 4 次瑞浪市情報化推進計画」の骨子について協議を行った。第 4 回目は、前回の会議で協議した計画の詳細について説明を受ける。年明けには、正式な計画が策定されることとなる。

#### 《会議資料について》

事務局

1 週間前に送付した会議資料を一部修正しているため、修正版を提示する。変更点は赤字で示しているので確認をお願いしたい。情報化推進計画の骨子については変更していない。

#### 《議事》

「(1) 第 3 回瑞浪市情報化推進会議議事録（案）について」

事務局

事前に委員より指摘いただいた箇所を赤字で修正しているため、確認をお願いしたい。

「(2) 第4次瑞浪市情報化推進計画(案)について」	「第4次瑞浪市情報化推進計画(案)」について事務局より説明を行った。(第1~3章は今までの会議で説明しているため割愛する。)
委員	オープンデータの推進が課題となっているが、オープンデータ化する情報の基準はあるか。
事務局	「重点施策②(2)オープンデータ用のデータの棚卸とルール策定」で示すとおりである。すでに国が定めたオープンデータの基準に沿って、岐阜県でオープンデータ化する情報の検討を行っている。「第4次瑞浪市情報化推進計画」をもって、瑞浪市でもオープンデータ化する情報の選定を考えている。
委員	公開したデータは何に利用しても問題ないのか。
事務局	オープンデータとは、著作権を一切放棄したデータの事であるため、利用目的は問われない。
委員	オープンデータ化を検討しているデータを教えてほしい。
事務局	オープンデータ化の始まりは、バス停や地下鉄の位置や時刻情報が公開され、これらのデータを利用して、移動や民間サービスの効率化が実現されたことにある。ロンドンオリンピックでもオープンデータが有効利用された事例がある。瑞浪市としては、初めに避難所やハザードマップを公開し、利用目的は閲覧された方に委ねる。国や岐阜県が行っているオープンデータ化の基準に準じて、情報を発信し、瑞浪市が他自治体から取り残されないようにオープンデータ化を進めていきたい。
委員	すでに公開されているデータでは、瑞浪市の人口、面積、生徒数が挙げられる。他の内容のデータが提供可能であれば、オープンデータ化を検討すると理解した。
委員	基準に基づいて検討していれば問題ない。
委員	「重点施策⑥(3)ホームページ内の電子化された申請書の集約化」について、申請書が電子化されていることを認識していなかった。この施策では、点在した申請書を集約するだけか。例えば、検索機能を用いて目的を入れると申請書が出てくるような仕組みを導入してはどうか。

事務局	Word や PDF の申請書をホームページ上で纏めて掲載しているが、検索しづらいとの意見があった。現在、ホームページの改修を行っているため、利用者が検索、閲覧しやすい配置を検討している。配置を整理することで、電話で申請書の場所等の問い合わせがあった場合にも的確な対応が可能となり、事務の効率化にも繋がると考えている。将来的に予算が確保できれば、AI を利用した LINE からの問い合わせ対応機能の導入も検討していきたい。
委員	現在は、電子化された申請書をダウンロード、印刷、記載し、窓口を持ってくると、申請できるようになっているのか。
事務局	その通り。
委員	インターネットを利用できない方を置き去りにしようとしているのではなく、インターネット利用者がより機能的に利用できるように検討していることを認識してもらいたい。例えば、インターネットでの申し込みは、いつ、どこからでも申し込みが可能となっているが、インターネットを利用しない方にとっては不利な仕組みとなっている。全てにおいてインターネットを利用するのではなく、従来通りの申し込み方法も残してもらいたい。
事務局	瑞浪市の幅広い年代の方に情報を伝えるためには、各年代が利用する情報媒体で情報発信を行う必要があり、「重点施策①(1)情報の受け手に適した情報発信」が最も重要だと考えている。新しい ICT 技術を導入しても、周知できていなければ意味がないため、まずは、的確に情報を伝えるために各年代が利用する情報媒体を精査する必要がある。紙媒体と電子媒体のバランスを考えて情報発信していきたい。瑞浪市民に対して有効で、暮らしが便利なるような ICT の推進を検討していきたい。
委員	「第 4 次瑞浪市情報化推進計画」は 5 年間にわたる計画となっているが、「重点施策⑥(3)ホームページ内の電子化された申請書の集約化」は今すぐにでも対応できる。「第 4 次瑞浪市情報化推進計画」に載せるほどの計画ではないのではないか。
事務局	申請書の集約は、今年度中に整理し、来年 4 月にはホームページ上での公開を想定している。この計画を始まりとして、順番に「行政手続きのオンライン化、窓口のオンライン化」を進めていく意向である。

委員	他の重点施策は、実施すべき個別施策順に(1)から明記されているので、整合性を図るために書き順を変更すべきではないか。
事務局	了解した。実施すべき個別施策順に変更して、情報化推進施策の1つとしたいがよいか。
委員	問題ない。順番を変更することで、優先的に実施してもらえるように受け取ることができる。
委員	<p>各重点施策について、以下の様に考えている。</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>➤ 「重点施策① 周知する情報の種類による広報媒体の最適化」について、早々に解決可能な施策だと思う。</li> <li>➤ 「重点施策② 事業者や市民に向け、市の情報をオープン化(オープンデータの推進)」について、瑞浪市でどれだけ有益な情報が公開できるか懸念しているが、オープンデータ化を推進してもらいたいと思っている。</li> <li>➤ 「重点施策③ 行政事務の効率化による自動化、省力化」について、AI・RPAの導入は望ましいが、検討で終わってしまうことを懸念している。</li> <li>➤ 「重点施策④ マイナンバーカードの普及、活用の拡大」について、国の施策に準ずることになるので、現時点では方向性が全く見えない。</li> <li>➤ 「重点施策⑤ キャッシュレスへの対応」について、早々に解決可能な施策だと思うが、数年後にはキャッシュレスが当たり前になり、今から取り掛かっても遅いのではと懸念している。</li> <li>➤ 「重点施策⑥ 行政手続きのオンライン化、窓口のオンライン化」について、個別施策が「検討」となっているので、実際に導入されず、検討で終わってしまうことを懸念している。</li> <li>➤ 「重点施策⑦ 新しいICTの取り組み」について、個別施策が「検討」となっている。5年後には、団塊の世代の人たちが、70歳代になることから、今より介護や医療費が必要となることが想定される中、ICTを活用した効率化や省力化を実施しないと瑞浪市が消滅してしまう可能性がある。「検討」ではなく「導入」される表現にしてもらいたい。</li> </ul>

事務局	指摘の通りだと考える。国はマイナンバーカードの普及、活用の拡大に注力しており、2025年には、マイナンバーカードを利用してインターネット上でパスポート申請を行える施策を検討している。他自治体に取り残されないように、瑞浪市でも「検討」していく必要があると考えている。
委員	「第4次瑞浪市情報化推進計画」は、マイナンバーカードの施策等、国や岐阜県の実施に併せて瑞浪市でも検討するような内容となっている。瑞浪市独自のマイナンバーカード施策等を盛り込むことはできないか。
事務局	マイナンバーカードの活用には基本的に国のシステムの導入が必要となり、それだけでも莫大な費用がかかる。国がAI・RPA導入メニューを作成しているのと同様に、マイナンバーについても国がメニューを提供すると思われる。瑞浪市の人口規模を踏まえると国が提供する全てのメニューを導入することはできないが、国や岐阜県が提供するシステムのうち必要なものを導入し、その後、瑞浪市として独自性のある施策があれば実現していきたいと考えている。
委員	国が推進するシステムを導入しても、瑞浪市に合わせて再度システムの構築が必要になるのではないか。最初から瑞浪市独自のシステムを導入するほうが望ましくないか。
事務局	マイナンバーカードは国独自のシステムが構築されているため、同様のシステムを利用する必要がある。瑞浪市独自のシステムではなく、全国的に利用されている利用範囲の広いシステムを導入するほうがマイナンバーカードの普及に繋がると考えている。
委員	「第4次瑞浪市情報化推進計画」は、国や岐阜県の実施に合わせているように見え、瑞浪市で実施していく施策が無いように感じられる。
事務局	施策の検討・実施を進める中で、瑞浪市に適したもの、独自性があるものがあれば導入していきたい。
委員	施策を進めるには問題や課題が出てくる。将来的にはマイナンバーカード1つで多くの事ができるようになると思うが、国に合わせるだけでなく、瑞浪市民が利便性を共有できるシステムが「第4次瑞浪市情報化推進計画」に反映されてほしい。事務局が示す重点施策①～⑦の方向性は間違っていないと思う。

委員	「重点施策①(4)発信する情報の収集」について、収集する情報は本委員会だけではなく、市役所の各課や市民から情報を得る、など表現を検討したほうがよいと思う。
事務局	基本的な内容を記載しているので、大まかな書きぶりで理解しがたい箇所も多々あるが、この程度の表現が最適だと考えている。
委員	例えばマイナンバーカードについて、他市では証明書等のコンビニ交付やマイナンバーカードを提示すると割引されるサービスが利用できる。「第4次瑞浪市情報化推進計画」で掲げる施策を実現するためには、市民が得られる利点を周知することが重要だと考える。
委員	アンケート結果では、瑞浪市民の60～80歳代はインターネットを利用しておらず、高齢者は広報から情報収集を行っている傾向にある。少子高齢化を考えると、高齢者に適したやさしい情報提供が今後必要だと考える。
委員	「第6章用語集」ICTについて、「情報処理だけではなく」の「なく」が消えている。
事務局	追記する。
《その他》	
事務局	本委員の意見をもとに内部にて協議を行う。協議後、来年1月6日(月)から1カ月間、パブリックコメントを実施し、市民の方々から意見を頂戴しようと考えている。パブリックコメントを踏まえて庁内にて検討し、「第4次瑞浪市情報化推進計画」が完成する。その後、委員の方々へ答申書を送付するので、意見を頂戴したい。
事務局	第5回瑞浪市情報化推進会議(最終会議)は2月下旬に開催する。
《閉会のあいさつ》	
会長	答申書には率直な意見を記入したい。一人でも多くの方に情報化に対して関心を持ってもらう事が大事だと考えている。情報化について検討する必要があることを、家族や地域に向けて発信することで、委員の役割を果たすことができると思う。

副会長

複数回会議を重ねて「第4次瑞浪市情報化推進計画」が形になってきた。5年後にこの計画が実現されていることを願う。本日はお疲れ様でした。